

服用前にこの説明文書を必ず読むこと。
また、必要な時に読めるよう大切に保管すること。

鼻炎用内服薬

第2類医薬品

パプトン[®]鼻炎カプセルM

くしゃみ、鼻みず、鼻づまりは、のどや鼻にウイルスが付着したり、アレルギー等によって起こる症状です。そのままにしておくと、気分をイライラさせたり睡眠不足の原因ともなります。早めのお手当てが必要です。

⚠ 使用上の注意



してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる)

1. 次の方は服用しないこと
本剤又は本剤の成分、鶏卵によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も使用しないこと
他の鼻炎用内服薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬等（かぜ薬、鎮咳去痰薬、乗物酔い薬、アレルギー用薬等）、胃腸鎮痛鎮痙薬
3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないこと
(眠気や目のかすみ、異常なまぶしさ等の症状があらわれることがある。)
4. 長期連用しないこと



相談すること

1. 次の方は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
(1) 医師の治療を受けている人。
(2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
(3) 高齢者。
(4) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
(5) 次の症状のある人。
高熱、排尿困難
(6) 次の診断を受けた人。
緑内障、糖尿病、甲状腺機能障害、心臓病、高血圧
2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消 化 器	吐き気・嘔吐、食欲不振
精神神経系	頭痛
泌 尿 器	排尿困難
そ の 他	顔のほてり、異常なまぶしさ

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死融解症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤等が持続したり、急激に悪化する。
再生不良性貧血	青あざ、鼻血、歯ぐきの出血、発熱、皮膚や粘膜が青白くみえる、疲労感、動悸、息切れ、気分が悪くなりくらっとする、血尿等があらわれる。
無顆粒球症	突然の高熱、さむけ、のどの痛み等があらわれる。

(裏面に続きます)

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
 □のかわき、眠気、便秘、目のかすみ
4. 5～6日間服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

効能・効果

急性鼻炎、アレルギー性鼻炎又は副鼻腔炎による次の諸症状の緩和：くしゃみ、鼻水（鼻汁過多）、鼻づまり、なみだ目、のどの痛み、頭重（頭が重い）

用法・用量

年 齢	1 回 量	1 日服用回数
成人（15歳以上）	1 カプセル	3回服用すること。ただし、服用間隔は4時間以上おくこと。
15歳未満	服用しないこと。	

（1）用法・用量を厳守すること。

（2）カプセル剤の取り出し方

図のようにカプセル剤の入っているPTPシートの凸部を指先で強く押して、裏面のアルミ箔を破り、取り出して服用すること（誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながる。）。



成分・分量、作用 1日量3カプセル中に次の成分を含む。

成 分	3カプセル中	主な作用
d-クロルフェニラミンマレイン酸塩	6mg	くしゃみ・鼻水・鼻づまりなどのアレルギー症状をおさえる。
フェニレフリン塩酸塩	15mg	鼻づまりをやわらげる。
ベラドンナ総アルカロイド	0.6mg	鼻水・鼻づまりをやわらげる。
リゾチーム塩酸塩	60mg(力価)	消炎作用により、鼻粘膜の炎症をやわらげる。
無水カフェイン	150mg	頭痛感をやわらげ、眠気を緩和する。
カンゾウ抽出物 (カンゾウ715mgに相当)	50mg	解毒・消炎作用により、鼻粘膜の炎症をやわらげる。

添加物：ヒドロキシプロピルセルロース、クロスカルメロースNa、セルロース、無水リッ酸水素Ca、ゼラチン、ラウリル硫酸Na、酸化チタン

保管及び取扱い上の注意

- （1）直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること。
 （2）小児の手の届かない所に保管すること。
 （3）他の容器に入れ替えないこと（誤用の原因になったり品質が変わる。）。
 （4）使用期限を過ぎた製品は服用しないこと。

お問い合わせ先
 田村薬品工業株式会社 お客様相談室
 06-6203-5151
 受付時間 10:00～17:00(土、日、祝日を除く)

副作用被害救済制度のお問い合わせ先
 （独）医薬品医療機器総合機構
<http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html>
 電話 0120-149-931（フリーダイヤル）

製造販売元

田村薬品工業株式会社
 奈良県御所市西寺田50